

氏名	田口孝行	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	地域リハビリテーション、ヘルスプロモーション				
学位	博士(保健科学)				
学歴	1990年4月:秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科、1997年10月:放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年4月:筑波大学大学院教育研究科修士課程、2004年4月:東京都立保健科学大学大学院保健科学専攻博士課程				
経歴	1993年4月:東京都リハビリテーション病院、1998年5月:東京都立保健科学大学保健科学部助手、2001年4月:埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年4月:埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2011年4月:埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2014年4月:埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本公衆衛生学会、日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本保健科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、専門リハビリテーション研究会、日本PNF研究会(監事)				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
2					
3					
(2) 論文					
1 加齢に伴うバランス能力低下と理学療法	共著	理学療法33(6):517-527	田口孝行, 新岡大和, 小沼佳代, 菊地裕美	2016.6	
2 在宅要介護高齢者における災害時避難方法に関する実態調査	共著	理学療法-臨床・教育・研究24:48-54	菊地裕美, 原嶋創, 村上幹, 伊藤慎也, 山際正博, 田口孝行, 原和彦	2017.3	
3					
(3) 学会発表					
1 緩和医療を題材としたIPW演習における自己評価尺度の開発	共著	第9回日本保健医療福祉連携教育学会, 東京都品川区	○大部令絵, 細谷治, 大嶋繁, 高尾浩一, 古屋牧子, 田口孝行, 柴崎智美, 勝木祐仁	2016.8	
2 地域基盤型専門職連携教育実習施設への効果検証に関する調査	共著	9回日本保健医療福祉連携教育学会, 東京都品川区	○諏訪絵美, 柴崎智美, 本橋千恵美, 高橋幸子, 米岡裕美, 田口孝行, 新井利民, 大部令絵, 細谷治, 勝木祐人	2016.8	
3 毎日一万歩運動事業実施における課題と改善点	共著	第75回 日本公衆衛生学会総会, 大阪	○田口孝行, 田嶋明彦	2016.10	
4					
(4) その他					
1 吉川市「毎日1万歩運動」	共著	第18回埼玉県健康福祉研究発表会, さいたま市	○小林以津己, 田口孝行	2017.1	
2 住民主体の介護予防事業5年間を振り返って	共著	第18回埼玉県健康福祉研究発表会, さいたま市	○佐々木佳子, 大瀧和寛, 山崎晴通, 宮田麻美, 染谷優佳, 田口孝行	2017.1	
3					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 平成27年度 科学研究費 基盤研究C(継続)	自治会主体の定期的な体操教室開催による介護予防・健康づくりの効果(研究代表者)			平成27年4月~平成30年3月	
2 平成26年度 科学研究費 基盤研究C(継続)	公的団地居住高齢者 複合介入プログラム(研究分担者)			平成26年4月~平成29年3月	

3	文科省 大学改革推進等補助金 大学間連携共同教育推進事業(継続)	彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成(研究代表校, 埼玉県立大学リーダー)	平成24年10月～平成29年3月
4	吉川市受託研究	吉川市毎日1万歩運動データ分析	平成28年7月～平成29年3月
3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	地域理学療法学	2016.6～2016.8	主に介護保険領域、介護予防・健康づくり領域における理学療法士の業務内容に関する講義。
2	リハビリテーション看護	2016.10	脳血管疾患の理学療法に関する講義と簡単なROM実技。
3	臨床運動学	2016.4～2016.6	失調症、脊髄損傷患者の動作分析に関する講義。
(2) 演習			
1	地域理学療法学演習	2016.11～2017.2	介護老人保健施設における入所・通所・訪問リハについての詳細な業務に関する講義と、地域のいて重要な多職種連携に関する演習(緩和ケア、生活環境整備)。
2	老年期障害理学療法技術学演習	2016.11～2017.2	高齢期に起こりやすい障害を想定した介助・介護方法の演習。また、地域の高齢者を招き学生が考案した健康講座を実践的に実施。
3			
(3) 実習			
1	ヒューマンケア体験実習	2016.4～2016.10	約85施設の協力得て、約400名の学生が学外実習にてヒューマンケアを実践的に学ぶ。
2			
3			
(4) 論文指導			
1	学部(卒業研究)	2016.4～2016.12	主指導:3名
2	修士課程	2016.4～2017.3	副指導:1名
3			
(5) その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	日本リハビリテーション連携科学学会第18回大会シンポジウム	日本リハビリテーション連携科学学会	専門職のキャリア発達「専門職連携教育・大学間連携教育への関わり」
2			
3			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	越谷市介護保険運営協議会・会長	2015.7～現在
2	越谷市	第6期越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく介護保健施設等整備に係る審査会・委員	2015.7～現在
3	越谷市	越谷市地域密着型サービス運営部会・部会長	2015.7～現在
4	埼玉県	埼玉県医局機構 地域医療教育センター委員会 研修企画作業部会員	2015.10～現在
5	厚労省	介護予防活動普及展開事業 自治体EGメンバー	2015.10～現在
6	早稲田大学	早稲田大学大学院人間科学研究科 博士学位申請論文審査委員	2017.2
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			

3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発委員会・委員(理学療法学科代表)		
2	教務運営部会・副部長(保健医療福祉科目担当者会代表)		
3	保健医療福祉科目担当者会(ヒューマンケア体験実習担当)		
4	「専門職連携・協働」推進事業専門部会・部会員		
5	理学療法学科教務担当		
6	理学療法学科カリキュラム改訂委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	大学間連携共同教育推進事業(彩の国連携力育成プロジェクト:4大学連携):埼玉県立大学リーダー		
2	武里プロジェクト(学長指定研究):武里団地における住民主体の健康なまちづくり-若者と築く「健康長寿武里モデル」:研究分担者		
3	国際交流活動:香港理工大学およびチューリッヒ大学アプライドサイエンスからの留学生プログラム2016, 講義5:「高齢者に対する理学療法」を担当		